

大阪教育大学附属天王寺中学校
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

第71回 教育研究会

コンピテンシーを軸にした
附属天王寺型 STEAM 教育開発 ~New Normal~

後援：大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・堺市教育委員会

2024
11/9 土

対面実施・参加無料

講演



石井 英真 氏 京都大学大学院教育学研究科准教授

【授業づくりの不易と革新】

日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で育成すべき資質・能力の中身をどう構造化・モデル化し、それらを実質的に実現しうるカリキュラム、授業、評価、教師教育をトータルにどうデザインしていけばよいのかを考えている。初等・中等教育段階の先生方と協働で、現場での授業改善を軸にした学校改革にも取り組んでいる。

■プログラム

9:00~9:30	受付
9:30~9:50	全体会
10:00~10:50	(中・高)授業Ⅰ
11:10~12:00	(中・高)授業Ⅱ
12:00~13:00	休憩
13:00~14:30	研究協議
14:50~16:20	講演

●授業Ⅰ、授業Ⅱは中学・高校の各教室にて授業または報告会を行います。詳細は中面をご確認ください。

■アクセス



●JR大阪環状線天王寺駅下車 北出口より東へ約1.0km
●JR大阪環状線寺田町駅下車 南出口より西へ約50m

■参加申し込み

本校ホームページ及びQRコードから申し込み受付を開始します。

申し込み期間 9月25日(水)~10月22日(火)

※申し込み数超過となりました場合には、現職教員の方を優先させていただきます。
※申し込み完了時点では、ご参加いただけるか確定しておりません。
ご参加いただけることになりました方には、後日その旨をメールにてお知らせいたします。



申し込みはこちら

■お問い合わせ先

大阪教育大学附属天王寺中学校
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
研究主任：福西昌平

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

TEL 06-6775-6045

E-mail : kenkyu@tenko-g.oku.ed.jp

<https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/tennoji-j/kenkyu/kenkyukai>

公開授業 **国語** 発表テーマ【古典に遊び、古典で学ぶ】
 指導講師／小路口 真理美（大阪教育大学教授） 司会者／伊藤 博紀（本校教諭）

授業者／富近 愛子
 【中学 2 年 国語】 授業 I / 10:00～10:50

軍記物語の世界を自ら探究し表現する
 『平家物語』を語りや楽器で表現することで古典の世界の奥深さや日本の文化について考えることを目指す。本授業では琵琶法師に倣い、現代社会に『平家物語』を鳴り響かせる。その時生徒は自身で古典を読み解き、深め、工夫する必要に迫られ、時代は変われど変わらない魅力を以て、古典を鑑賞できる能力が育まれると考える。

授業者／岩崎 錬
 【高校 2 年 古典探究】 授業 II / 11:10～12:00

**最高の英雄はこうして生まれた
 ～軍記物語を読んでキャラクターとしての「義経」を考察する～**
 英雄・源義経の輝かしくも儚い生涯は、中世から今日に至る日本社会において、多くの民衆によって愛され、繰り返し語り直されてきた。本単元では『平家物語』『義経記』に代表される複数のテキストやコンテンツにあらわれた「義経像」の比較を行うことを通じ、我々の求めてきた英雄象、そして「判官びいき」「義経生脱伝説」といった事象に代表される日本社会の精神的嗜好性について考察する。

公開授業 **数学** 発表テーマ【見える世界を数学的に解決する資質・能力の育成】
 指導講師／竹歳 賢一（大阪大谷大学准教授） 司会者／深澤 義成（本校教諭）

授業者／藤原 有希
 【中学 1 年 数学①】 授業 I / 10:00～10:50

数理モデルでの有用性から関数学習について考える
 関数学習の導入『ともなって変わるいろいろな数量のうち、2つの数量に着目して、それらの数量の関係について…』を取り上げる。現実の事象を「関数とみなす」ことで数理モデル(数式)をつくり、数学的処理、結果の評価や検討、未来予測をする。この一連の活動を通して関数学習の有用性を実感しつつ、関数分野の知識の習得や技能の向上を目指す。

授業者／山本 修平
 【高校 1 年 数学 A】 授業 II / 11:10～12:00

現実事象を題材にした幾何学の探究活動
 高校数学は抽象度が高く、生徒たちに「なぜそれを学ぶ必要があるのか」を伝えることが難しい。高校で学ぶ平面幾何を「現実世界」にあるものを題材にすることで、現実事象で疑問に感じたものを数学的に解決するという数学的な見方・考え方の力を培う。また実際に求めた値(理論値)が現実的に正しいものなのかを吟味し、理論と実践の往還を実現するような授業を目指す。

公開授業 **理科** 発表テーマ【資質・能力の育成支援における手法の深化と評価の検討】
 指導講師／大貫 守（愛知県立大学准教授） 司会者／藤井 宏明（本校教諭）

授業者／印南 航
 【中学 1 年 理科】 授業 I / 10:00～10:50

見て・感じて・考える津波防災学習
 本題材では、生徒が作成した地形モデルに、実際に津波を再現させる「津波実験」を行うことにより、体感的に津波の仕組みを感じさせ、どのような地形で被害が大きくなるのかを、科学的に考察させることをねらいとする。また、地形の考案やモデル作成を含め、考察に至るまでの一連の過程を、生徒に主体的に取り組みさせることにより、探究的な力の育成をはかる。

授業者／南 勝仁
 【高校 2 年 化学】 授業 II / 11:10～12:00

**ヘンリーの法則と日常をつなぐ
 ～教科の本質を学ぶ授業をめざして～**
 昨年度、「気体の溶解度」において学習後に行った調査で、日常と関係する問の正答率が4割程度と低く、意図的な仕掛けがないと日常への学習の転移が弱いのではないかと考えた。本授業では、その改善と実験を通じた法則の活用や適切なデータ処理、根拠に基づく考察などによる資質・能力の育成支援を目標とした授業デザインを試みた。

公開授業 **英語** 発表テーマ【主人公になりきって、世界の紛争問題について考える】
 指導講師／竹内 理（関西大学教授） 司会者／立花 直樹（本校教諭）

授業者／曾野 玲子
 【高校 2 年 英語コミュニケーションⅡ】 授業 I / 10:00～10:50（※研究協議は 11:00～12:30）

生徒の深い思考を促し生徒が自分の意見を発信する力を育成する授業（CLILの考え方をベースに）
 本授業では、紛争地帯で国境なき医師団として活躍する日本人看護師の教材を題材に、主人公の体験を自分事として捉え、世界で起こる紛争について自分はどうか考えるかという意見を発信する力を育成する授業を目指す。今年度の English Communication の授業で軸として置いているリテリング活動「+1」を主な言語活動とし、生徒たちの一人ひとりが主人公になりきって国際紛争における活動を伝え、それに対する考えを発信できるようになることを最終目標としたい。

公開授業 **音楽** 発表テーマ【知覚・感受って何だろう?】
 指導講師／長谷川 諒（神戸大学非常勤講師） 司会者／米谷 優（本校非常勤講師）

授業者／古川 裕介
 【中学 1 年 音楽】 授業 I / 10:00～10:50

鑑賞教材を効果的に活用した歌唱表現の創意工夫
 合唱曲の定番である COSMOS(ミマス作詞・作曲)を取り上げ、ハモることへの興味・関心を高める常時活動を中心に授業を展開する。学びの参考資料として様々なハモり方の楽曲を鑑賞し、ハーモニーの特徴とその効果を確認しながら発声練習をおこなうことで、ハーモニー感覚を磨くとともに、合唱を学ぶ上で必要な“ハーモニーに関する知識の引き出し”を楽しみながら増やすことをめざしたい。

授業者／古川 裕介
 【高校 2 年 音楽Ⅱ】 授業 II / 11:10～12:00

鑑賞教材を効果的に活用した歌唱表現の創意工夫
 クラシックとジャズが融合した合唱作品を取り上げ、ジャズらしさを探究し歌唱表現に生かす授業を展開する。作品の冒頭に書かれているスウィングという表記に着目し、スウィングのリズムの特徴を“理論”と“感覚”の両面からアプローチすることで、生徒の歌い方や表現がどのように変化したのか、鑑賞したことが歌唱表現にどのように生かされたのか、当日の研究協議会で検討したい。

公開授業 **附属天王寺型 STEAM (高校①)** 発表テーマ【雪の結晶を題材とした教科横断的な学び】
 指導講師／小西 啓之（大阪教育大学教授） 司会者／乾 まどか（本校教諭）

授業者／山口 耕司【教科横断 高校 1 年 物理基礎】 授業 I / 10:00～10:50
 授業者／西田 薫 【教科横断 高校 1 年 国語】 授業 II / 11:10～12:00

【英語 × 物理基礎 × 化学基礎 × 国語】
 高等学校では、各教科の学びを基礎とした教科横断授業の開発に 2021 年度より取り組んでいる。本年度は夏目漱石の弟子である物理学者・寺田寅彦に師事した中谷宇吉郎による雪の結晶に関する研究を題材とし、師弟間で受け継がれた、科学と文学を高い次元で融合させる視点に焦点を当てた。英語・物理・化学・国語の知を統合し、研究者に必要な資質能力とは何かを生徒が明らかにする実践を行う。

報告 **附属天王寺型 STEAM (高校②)** 報告テーマ【広がる視野を実感する研修旅行づくり
 ～自治と学習を通して見えるものは?～】
 指導講師／小西 啓之（大阪教育大学教授） 司会者／乾 まどか（本校教諭）

報告者／打海 孝輔（数学科教諭）
 【高校 2 年 授業 × 研修旅行】 授業 I / 10:00～10:50

【数学Ⅱ × 化学基礎 × 地学基礎 × 地理総合 × 英語 × 家庭基礎】
 研修旅行の訪問先が今年度から北海道になることを受けて、生徒達が視野を広げて成長できることを目標に、LHR での学習活動に加えて、数学Ⅱ、化学基礎、地学基礎、地理総合、英語、家庭基礎、探究の教科横断授業を行っている。報告会として、生徒達が研修旅行を通じて得た多角的な学びの成果について、生徒と教員より報告する。
 ※研究協議は、高校教科横断①②合同で実施

報告 **附属天王寺型 STEAM (中学)** 報告テーマ【古典文学を通じて感じる英語の面白さ】

報告者／田中 真理子（英語科教諭）
 【中学 2 年 英語】 国語研究協議内にて発表

【英語 × 国語「古典文学」】
 国語科「古典文学」との教科横断授業を行う。古典文学作品の英訳を読み取る過程で、国語科で既習の作品内容にも改めて意識を向ける。また、既存の英詩を見て rhyme (脚韻) などの英語特有の表現方法にも生徒が気づくような授業展開を目指す。単元末には古典文学作品の内容と関連したテーマを設定し、「書くこと」及び「話すこと(発表)」を観点とした表現活動をグループで協働しながら行う。

【中学】自由研究(探究活動)ポスター発表
 附属天王寺中学校の自由研究では、総合的な学習の時間を利用して、生徒の素朴な疑問や興味・関心を土台とした研究テーマで個人探究活動に取り組んでいる。課題設定・情報収集・結果の考察・発表を通して、生徒の様々な研究スキルを高めることを目指している。附属天王寺の研究活動に取り組むことで、生徒の課題解決能力の向上や、主体的・対話的で深い学びに繋がると考えられる。その研究成果の一部をポスターにて公開する。授業 I (10:00～) の時間において、中学生によるポスター発表を実施予定である。また、授業 II (11:10～) の時間において、研究協議を実施予定である。(担当者/中学校教諭 島橋 尚吾)